

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果（獅子舞・ししまい）

- (1) 一部動かない
- (2) 音楽が流れない。
- (3) 体の動きが鈍いときがある。
- (4) 電池3本あるも容量少なし。電池交換3本
- (5) 右の写真でも分かるとおりに「耳」のバネが伸びている。

※ここまで問診

(6) 診察の結果

- ・ 写真で示す位置の繋ぎのためのピンが異常な形であること。
- ・ 片方の穴にピンが入っていない。
- ・ 抜こうとしても抜けない

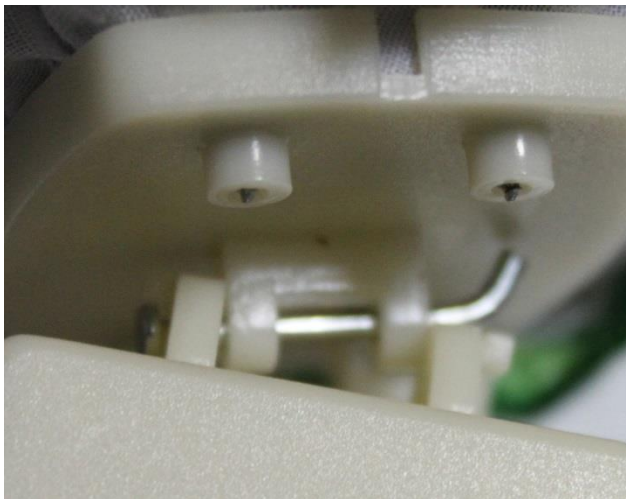


図-1 ピンが曲がっている。右の穴に入っていない。



図-2 抜こうとしても抜けない

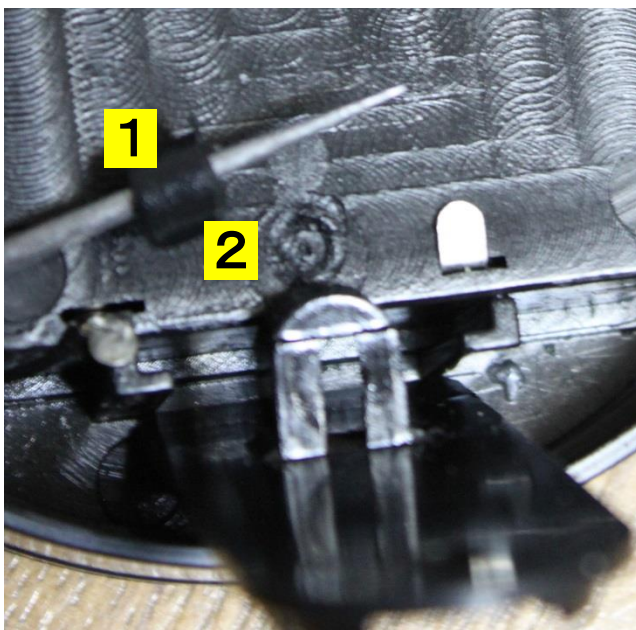


図-3 獅子舞の台座

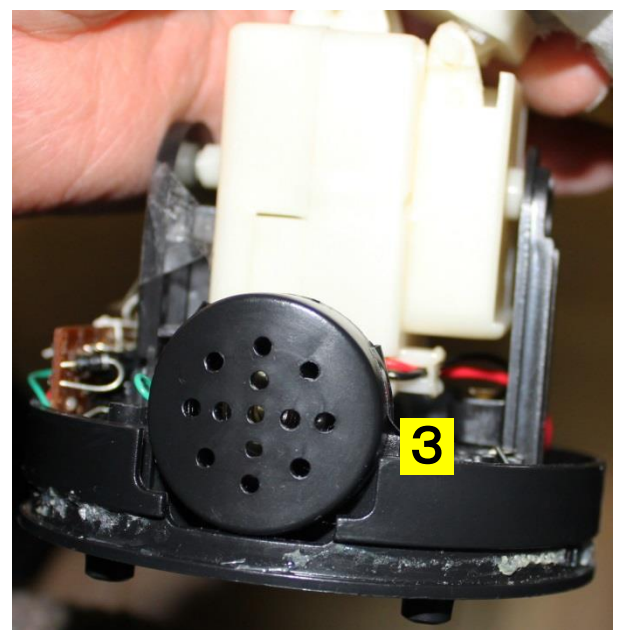


図-4 獅子舞の体を支える支柱を固定する

- ・ 図-3 台座の1の部品が2の右の○の上に、穴を上にして固定されているべきが折れている。
- ・ 図-4 台座の3の右の支柱を固定する大事なものである。これが固定されないと本体が揺れてやがては大きな故障となる。

2 治療の方法

(1) まず図-1 の異常な状態を直さないと、この部位もやがて壊れてしまう。



5図の上のピンは仮止めのものである。この状態が正しいと思う。

下側にセロテープで貼り付けているように、抜こうとしても抜かず、真っ直ぐ伸ばそうとしても工具も使えず伸ばすことができない。

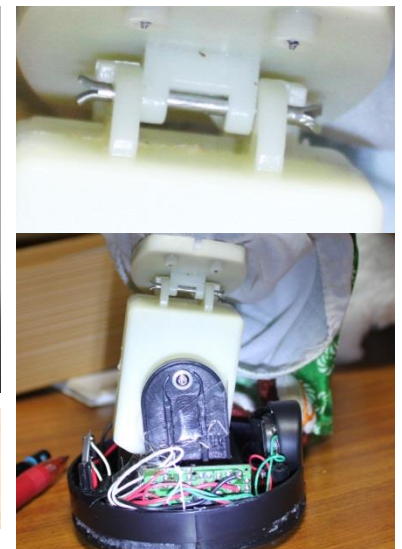
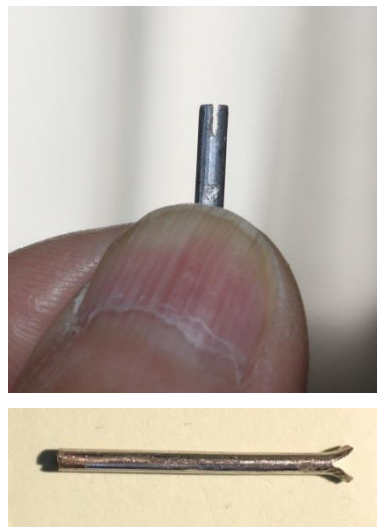
製造段階からこの状態で出荷されたものか？ 何とも不思議だ。特殊工具で切断して抜き取った。

図-5 この状態が正しい

(2) 5図の仮止めを抜けないように工夫しなければならない。

- 金切り鋸で両端を縦に切って片方を広げて穴に差込み、もう片方を広げれば抜けることは無い
- 分解するときは、広げているところをプライヤー等で挟めば抜き取ることができる。

※右図には、番号付与なし



(3) 図-3・図-4 治療については、台座の **2** に小さな穴をあけ、**1** の部品にボンドを着けてネジを下の方の台座を貫通する長さのものに替えてねじ込み、ボンドが乾くまで放置する。乾いたところで、ネジを抜き取り支柱をボンドで接着した部品に組み込みネジで固定した。

(4) スピーカーも良、センサーも良、配線も問題ないのに音が出ない。

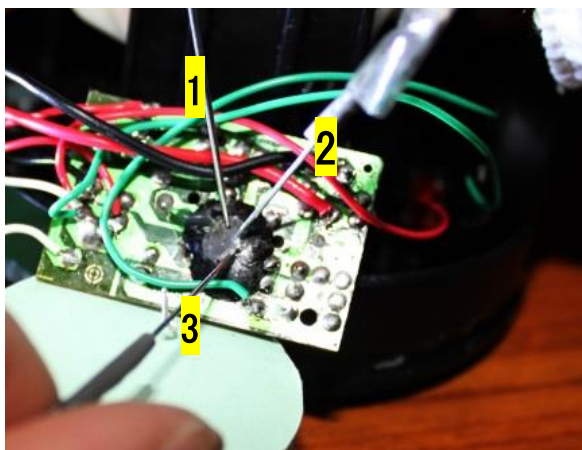


図-6 縫い針が刺さっている箇所が「穴」

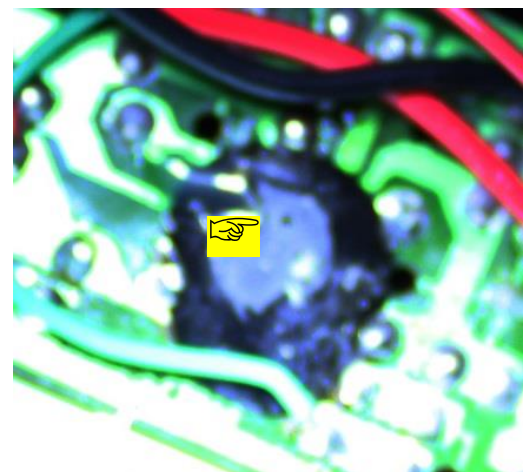


図-7 指差しの箇所が左図 1 の穴

- ・ 6図・7図に見られるように、黒く丸型のICのはずが、グレー色に見える箇所のように、黒く覆っていた物質が、瀬戸焼きの器が欠けたようになっていく。極めて珍しい状態です。そして、拡大鏡で見ると、黒い点と見える(7図の指差しの黒点)ものが、実は穴になっている。写真では見えないが、良く見ると6図のように3箇所穴があいている。
- ・ どうしてこのようになったのか、想像すらできない。単なる物体同士の「擦れ傷」では無い。私には、この状態が「音の出ない」原因では無いかと推測するも、証明できる知識は無い。



図-8 入院時の耳の状態



図-9 出荷時の耳の状態になるよう努力したもの



以上で、音以外は概ね治療できたこととなります。

3 ドクターからのアドバイス

上記2項で説明させて頂きましたように、できるだけ努力は致しましたが、完全に直すことはできませんでした。IC(集積回路)の故障を直すことは至難の業でございます。あしからず。

※あしからずの意味「あなたの希望に添えなくても、許してね、怒らないでね」でございます。

耳を止めているバネは、細いらせん状のバネです。引っ張ると伸びたままになります。気をつけましょう。

お渡しした日 : 平成28年2月27日

担当ドクター : 谷 春 雄